

# こうしゅう 市議会広報



- 特集① 議会改革 2常任委員会がスタート P2～
- 特集② 6月定例会レポート 議案の審議結果 P4～  
・都市計画税 討論・採決で課税再開を可決
- 研修レポート 議会広報編集委員会 P8
- 一般質問 10人の議員が市政を問う！ P9～
- 常任委員会レポート P20～

55号

2019.7.31 発行  
山梨県甲州市議会



今夜のカレー、上手にできるかな？  
(恒例の勝沼少年ジャンボリーにて)

 マチイロ

マチを好きになるアプリ



※広報紙をスマートフォンやタブレットで



## 活動の活性化を図る

現在、甲州市議会では、「開かれた議会の実現」に向けて議会改革を進めています。改革の主な目的は、「情報の公開」、「市民参加」、「議会の機能強化」を図ることであり、平成30年4月に設置した議会改革研究会において具体的な取り組みが検討されてきました。その一環として常任委員会の見直しが行われ、今年の6月定例会から3常任委員会を2常任委員会に再編成しました。今後は本会議から付託された議案の審査や所管事務調査をさらに充実するなど委員会活動の活性化を図っていく考えです。

今号では再編成された「総務文教常任委員会」、「厚生経済常任委員会」の主な所管事務と所属議員を紹介します。

# 2常任委員会が

# スタート!!



●委員会は傍聴することができます。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。



後列 廣瀬一郎 川口信子 飯島武志 平塚 悟  
 前列 廣瀬宗勝 ○岡部紀久雄 ◎丸山国一 中村勝彦

## 総務文教常任委員会

### ■ 主な所管事務

主要施策の企画及び調整、行政改革、行政組織、広聴広報、地域創生、防災・防犯・消防、情報化・電子自治体、予算・財政、財産管理、市税の賦課・収納、交通政策、消費者行政、市民参画、友好都市、学校教育、社会教育、公民館、図書館、文化財、戸籍、住民基本台帳



後列 飯島孝也 日向 正 廣瀬明弘 高野浩一 小林真理子  
 前列 夏八木盛男 ◎高畑一幸 ○青柳好文 廣瀬重治

## 厚生経済常任委員会

### ■ 主な所管事務

国民健康保険、国民年金、環境対策、環境保全、廃棄物、社会福祉、障害福祉、介護保険、訪問看護、児童福祉、保育所、健康増進、保健衛生、観光、商工業、ワイン振興、農林業、農地、土地改良、道路・河川、都市計画、景観、開発、上水道、簡易水道、下水道、ぶどうの丘

議長 廣瀬宗勝  
 副議長 廣瀬明弘

【他の委員会・組合議会】

（◎委員長、○副委員長、期数・年齢順）

◆議会運営委員会

◎夏八木盛男 ○丸山国一

中村勝彦 日向 正

岡部紀久雄 高畑一幸

飯島武志 飯島孝也

◆議会広報編集委員会

◎日向 正 ○廣瀬一郎

中村勝彦 川口信子

岡部紀久雄 廣瀬明弘

高野浩一 小林真理子

◆東山梨行政事務組合

廣瀬宗勝 夏八木盛男

丸山国一 中村勝彦

廣瀬明弘 高畑一幸

青柳好文 平塚 悟

◆峡東地域広域水道企業団

廣瀬宗勝 夏八木盛男

廣瀬重治

◆釈迦堂遺跡博物館組合

廣瀬宗勝 川口信子

青柳好文 高野浩一

飯島孝也 小林真理子

◆甲府・峡東地域ごみ処理

施設事務組合 岡部紀久雄

丸山国一

◆山梨県後期高齢者医療広

域連合 飯島武志

◆監査委員 中村勝彦

## 6月定例会レポート 議案の審議結果

### 再編審議会を設置

令和元年甲州市議会6月定例会は、6月4日から6月27日までの24日間の会期で開かれ、承認案、条例案、令和元年度一般会計補正予算案、議員発議案、請願など20件の事件について慎重な審議を行いました。  
主な議決内容を要約してお伝えします。

（審査の詳細は20ページからの常任委員会レポートを参照）

# 学校統廃合等の審議へ



学校の統廃合は諮問を受けた学校再編審議会で審議が行われる

◆附属機関の設置に関する条例の一部改正は、市内小中学校の児童、生徒が減少する中、将来にわたる学校の適正規模、適正配置が維持できるように、学校の統廃合等を審議するため、教育委員会の附属機関として学校再編審議会を設置するものです。また、審議会が行う事務や委員の資格要件等を定めるため、所要の改正を行う必要があることから制定するもので、可決しました。

◆重度心身障害者医療費助成金支給条例及びひとり親家庭医療費助成金支給条例の一部改正は、本市の各医療費助成金に係る条例と、県の助成事業費補助金交付要綱の矛盾による補助金交付制限を是正するため、各種医療費助成金の優先順位を変更する等、所要の改正を行う必要があることから制定するもので、可決しました。

### 天空の湯に回数券を導入

◆勝沼ぶどうの丘施設設置及び管理条例等の一部改正は、令和2年1月1日からぶどうの丘温泉施設等の使用料が引き上げになることから、市民サービス向上を目的に割安な入浴回数券を導入するものです。また、施設利用の活性化を図るため、新たに使用料の還付および減免の規定を整備する必要がありことから制定する

るもので、可決しました。回数券は、中学生以上が利用できる11回券、および70歳以上の高齢者が利用できる12回券があり、いずれも4500円で市内在住者が利用することができます。

◆介護保険条例の一部改正は、低所得者に対する介護保険料の軽減措置を強化するため、低所得者の保険料の負担軽減を図るほか、

必要があることから制定する

決しました。



# 都市計画税

# 討論・採決で課税再開を可決

## 課税区域に勝沼地区を追加



都市計画税の課税再開に関する条例改正案は起立採決により賛成多数で可決された

## 改正後の都市計画税

税率	0.15% (固定資産税の課税標準額に対して)
課税区域(大字名) ※都市計画区域内	【塩山地区】 千野、上於曾、下於曾、赤尾、上塩後、下塩後、下萩原、牛奥、西野原、熊野、西広門田、上井尻、三日市場、小屋敷、藤木
	【勝沼地区】 勝沼、小佐手、綿塚、休息、山、等々力、下岩崎、上岩崎、藤井、菱山
課税対象	土地(宅地・雑種地)、家屋

※令和2年度分から課税

◆都市計画税条例等の一部改正は、都市計画税の趣旨を踏まえ、より公平適正な課税を行うため、課税区域の見直し等を行い、令和2年度分から課税を再開するため、所要の改正を行う必要があることから制定す

るものです。改正による課税区域は、都市計画区域内の塩山地区、および勝沼地区(いずれも一部の地域を除く)とし、税率を現行の0・20割から0・15割にするものです。本会議では「可決すべきもの」とした総務

文教常任委員長の報告に対して反対討論が行われましたが、採決の結果、賛成多数で可決しました。

■委員長報告に反対討論  
飯島孝也 一般質問等における市当局の説明からは、都市計画税の用途に具

体的な計画性や将来性が見えてこない。また、市民が都市計画マスタープラン見直しの議論に参画する仕組みをつくり、都市計画税の用途となる事業計画を考えた後に課税再開を諮るべきである。都市計画税の再開が、まちづくりに明るい未来をもたらすことが示されない限り、市民の理解を得ることはできない。よって委員長報告に反対する。

※本会議においての議決結果等は7ページを参照

## 降ひよう被害

### 被災農家に農薬購入費を補助

◆令和元年度一般会計補正予算(第1号)は、1億1024万3000円を追加し、歳入歳出をそれぞれ166億4824万3000円としました。主な歳出内容は、**農林水産業費として農業振興一般経費に7460万8000円、民生費**

として介護保険特別会計繰入金等に2939万9000円を追加するものです。主な歳入内容は、**国庫支出金に1754万2000円、県支出金に8237万4000円、繰越金に712万7000円**を追加するもので、可決しました。



5月に発生した降ひようは果実等に傷が付くなど大きな被害を及ぼした

◆令和元年度一般会計補正予算(第2号)は、1206万4000円を追加し、

歳入歳出をそれぞれ166億6030万7000円としました。今回の予算補正は、5月に市内で発生した降ひようにより、被災した農家に対する支援策として行うものです。歳出内容は、**農林水産業費として病害を防ぐための農薬購入費補助金に1206万4000円**を追加するものです。歳入内容は、**県支出金に603万2000円、繰越金に603万2000円**を追加するもので、可決しました。

### ろ過設備設置工事 1億7160万円で契約

◆菱山浄水場膜ろ過設備設置工事請負契約締結については、現在、建設中である菱山浄水場において、原水をろ過するための膜ろ過設備を設置するものです。契約内容は、事後審査型条件付き一般競争入札を行

い、請負金額は1億7160万円で、水道機工株式会社東京支店(東京都世田谷区)と仮契約を締結するもので、可決しました。

### 全会一致で 意見書を可決

◆新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出は、制定以来、過疎地域に

おける生活環境の整備や産業振興など一定の成果を挙げてきた過疎地域自立促進特別措置法が、令和3年3月末で失効となることから、引き続き総合的な過疎対策の充実・強化を図るため、新たな過疎対策法の制定を求めたもので、全会一致で可決され、関係省庁に意見書を提出しました。

## 消費税増税の中止 不採択

国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願書

請願

### 請願要旨

消費税は、所得の少ない人ほど負担が重く、貧困と格差を拡大する根本的な欠陥を持つ税制であるため、消費税増税でなく、軍事費や不要不急の大型公共工事の歳出を減らし、大企業や富裕層を優遇する不公平税制を正すなどして、今年10月の消費税引き上げの中止を求めるもの。

本請願は、総務文教常任委員会に付託して審査を行いました。本会議では「不採択すべきもの」とした委員長報告に異議が出されましたが、採決の結果、委員長報告のとおり不採択となりました。

# 令和元年6月定例会 議案等議決結果一覧表

(賛成=○ 反対=● 退席=△ 欠席=欠) ※廣瀬宗勝議長を除く

種別	議案番号	議案名	議決	議員名																結果		
				掲載ページ	平塚 悟	小林 眞理子	飯島 孝也	高野 浩一	廣瀬 一郎	青柳 好文	飯島 武志	高畑 一幸	廣瀬 明弘	岡部 紀久雄	日向 正	廣瀬 重治	川口 信子	中村 勝彦	丸山 国一		夏八木 盛男	廣瀬 宗勝
承認案	承認第1号	専決処分承認を求めることについて(甲州市税条例等の一部を改正する条例)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
条例案	議案第52号	甲州市重度心身障害者医療費助成金支給条例及び甲州市ひとり親家庭医療費助成金支給条例の一部を改正する条例制定について	P.4																		議長	
	議案第53号	甲州市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	P.20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第54号	甲州市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	P.20																			
	議案第55号	甲州市税条例等の一部を改正する条例制定について																				
	議案第56号	甲州市都市計画税条例等の一部を改正する条例制定について	P.5 P.20	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第57号	甲州市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	P.4																			
	議案第58号	甲州市勝沼ぶどうの丘施設設置及び管理条例等の一部を改正する条例制定について	P.4 P.21																			
	議案第59号	甲州市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例制定について	P.4 P.20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第60号	甲州市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	P.21																			
	議案第61号	甲州市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について																				
補正予算案	議案第62号	令和元年度甲州市一般会計補正予算(第1号)	P.6 P.21																		議長	
	議案第63号	令和元年度甲州市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	議案第65号	令和元年度甲州市一般会計補正予算(第2号)	P.6 P.21																			
その他の案件	議案第64号	菱山浄水場膜ろ過設備設置工事請負契約締結について	P.6 P.21	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
報告事項	報告第1号	平成30年度甲州市一般会計繰越明許費繰越計算書について																			-	
	報告第2号	平成30年度甲州市水道事業会計繰越費繰越計算書について		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	報告第3号	甲州市土地開発公社の経営状況について																				
請願	請願第1号	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願	P.6 P.20	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	不採択		
議員発議案	発議案第2号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について	P.6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		



# 研修 <sup>レポート</sup> Report



広報編集における高い技術と熱意に刺激を受けた視察研修

## 議会 会広報編集委員会

5/15

### 研修先

- 宮城県川崎町
- 宮城県利府町

5/16

今年度の視察研修は5月15日、16日に宮城県川崎町および利府町の議会を訪問し、「議会広報の在り方」について研修を行いました。両町の議会は、積極的に住民への広報活動を展開し、町村議会広報の全国コンクールにおいて、最優秀賞など上位入賞の実績があり、全国から数多くの行政視察を受け入れています。

「1人でも多くの市民に読んでもらう」ために

研修に当たり、事前に両町の広報紙を読み、委員各自の質問の読み合わせを行い、テーマを絞って研修に臨みました。

研修では、両町とも議長をはじめ7、8名の議員から説明と質疑応答をいただきました。その内容は的確かつ分かりやすく、議員活動そのものにも多くの示唆に富む内容でした。

1日目の研修終了後には夕食前にミーティングを行い、研修で感じたこと、改善点などについて委員一人ひとりが意見発表を行い、研修の成果を整理しました。また、研修後、委員全員が提出した報告書では、記事や写真の作成に、委員自らの取り組みを拡大することや、表紙の工夫、記事の文字数を減らすことなど多くの提案がありました。

視察研修で気付き学んだことを委員全員で検討を重ね、「1人でも多くの市民に読んでもらう」ために、議会広報活動を進めてまいります。

## 議場見学

6月10日に赤尾保育園、6月14日に玉宮小学校、大藤小学校、神金小学校の皆さんが議場見学に来てくれました。



赤尾保育園ゆり組の皆さん



玉宮小学校、大藤小学校、神金小学校の3年生の皆さん



# 10人の議員が 市政を問う！



## 一 般 質 問

1	飯島 武志 議員	政和クラブ	10ページ
2	平塚 悟 議員	創生会	11ページ
3	高野 浩一 議員	政和クラブ	12ページ
4	廣瀬 重治 議員	是々非々の会	13ページ
5	川口 信子 議員	日本共産党	14ページ
6	廣瀬 一郎 議員	公明党	15ページ
7	岡部紀久雄 議員	政和クラブ	16ページ
8	日向 正 議員	創生会	17ページ
9	小林真理子 議員	子どもにつなぐ未来の会	18ページ
10	飯島 孝也 議員	創生会	19ページ

※一般質問の発言順序は抽選により決定しています。

詳細な内容は、甲州市議会ホームページ上の会議録検索システムをご覧ください。  
いただくか、6月定例会会議録を市立図書館などをご覧ください。  
掲載・発行はいずれも9月上旬の予定です。



会議録検索  
システム

6月定例会では、産業・教育・福祉・観光・基盤整備など  
市政全般にわたり、6月17日・18日の2日間、一般質問が行  
われました。  
それぞれの内容を要約してお伝えします



犯罪抑止のため通学路等に防犯カメラの設置が求められる

# 問

## キャリア教育の成果は



飯島 武志 議員

政和クラブ



わたつみ平和文庫  
市文化財指定  
(市HP)

# 答

## 生きる力を見つける道しるべに

**問** 小1プロブレムや中1ギャップの解決を図るため、幼稚園・保育園と小学校、小学校と中学校の連携をどのように推進するのか。

**答** 指導方法の共有や交流事業の開催によって連携を強化しながら、研究を進めている。

**問** キャリア教育の取り組みと成果を問う。

**答** 小学校では職場見学、中学校では福祉や農業等の職場体験を行っており、自ら生きる力を発見していく道しるべになっている。

**問** わたつみ平和文庫の一部が市文化財に指定された

**問** 小中学校や各公民館において、これらを生かした平和教育をどのように推進していくのか。

**答** 中村徳郎の最後の手紙と日本戦没学生の手記は、市民文化会館にレプリカを展示している。今後もできるだけ多くの方の目にとまるよう活用していく。

**問** 犯罪を未然に防ぐため、小中学校の通学路等に防犯カメラを設置できないか。

**答** プライバシー侵害や費用対効果等の課題があるため、現在行われている地域住民による見守り活動を充実していきたい。

**問** 生涯学習における講座や教室等の文化芸術関連事業を見直して、体系化できないか。

**答** 現在、東京オリンピック関連の講座等を開催している。閉幕後には体系化を研究していきたい。

**問** 誰でも学べる市民大学を設置できないか。

**答** 他市町村の事例を参考に研究していく。

**問** 住民が支え助け合う日常生活高齢者お助けサポートサービスの現状と推進策

**問** を問う。

**答** 高齢者32人の登録があり、平成30年度は延べ197人が利用した。支援するお助けサポーターは28人が登録している。今後はお助けサポーターの増員を図りながらサービスの利用を周知していく。

**問** ジェネリック医薬品の使用促進に向けた取り組みを問う。

**答** 対象者に差額通知書を送付し、ジェネリック医薬品への切り替えを促して理解を求めている。

**問** 中高年の引きこもり協働による支援体制

**問** 中高年の引きこもりについて本市の状況を問う。

**答** 男性49人、女性27人で30歳以上が非常に多くなっている。

**問** どのような対策や支援を考えているのか。

**答** 相談窓口の拡大や広報活動を推進している。また、家族や本人が相談しやすい体制を整えることが大切と考え、福祉あんしん相談センターが中心になり、支援強化に取り組んでいる。

※ 1 新小学1年生が学校生活に适应できないために起こす問題行動

※ 2 中学校入学後に学習や生活面での大きな環境変化に适应できないため不登校やいじめが増加する現象



# 問 都市計画税 再開と区域見直しの理由は

## 答 より公平適正な課税のため

**問** なぜ都市計画税の課税区域を見直し、課税を再開するのか。税率0・15%でどのくらいの税収を見込んでいるのか。

**答** より公平適正な課税のため見直しを行った。勝沼地域も下水道エリアを基本に課税区域を定めた。税収は1億3500万円を見込んでいます。  
**問** 都市計画税の使いみちを問う。

沼ぶどう郷駅周辺の整備を進めていく。

**問** 市職員の時間外労働と有給休暇取得は、どのような状況であるのか。

**答** 時間外労働の月平均は10時間、有給休暇取得の年平均は9日間である。

**問** ライフワークバランスを確保する取り組みは進んでいるのか。

**答** 今後、研究を重ねながら有効な働き方を取り入れていきたい。

**問** 課長職への登用など女性職員の活躍を推進する取り組みは行われているのか。

**答** 課長職は10%の目標に対して11・5%、課長補佐は30%の目標に対して34・4%である。

**問** 市内の企業が外国人就労者を受け入れる場合、行政機関としてどのような対応を行うのか。

**答** ハローワーク等の関係機関と連携しながら対応していく。

**問** ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピックの開催は、世界に向けて本市の魅力をPRする絶好の機会である



勝沼ぶどう郷駅周辺の整備も都市計画税の使い道のひとつ

が、インバウンド対策等の観光施策を問う。

**答** 本市が参加する富士山フルーツ観光推進協議会の広域連携を生かしながら、本市の魅力を発信して誘致に努めていく。

### ふるさと納税額は6億8402万円

**問** 平成30年度のふるさと納税の状況と返礼品の還元率を問う。

**答** 寄附総額は6億8402万9000円である。還元率は28・1%で総務省の

基準に適合している。

**問** 寄附金はどのように活用されているのか。

**答** 自然保護や子どもたちの健全育成など5つの使い道があり、必要な事業の財源として活用している。

**問** 本市の平和教育を進めるため、わだつみ平和文庫の資料や蔵書を市民がいつでも目にして、学べるようにできないか。

**答** 教育長 学校等との連携や特別展を開催する中で、人が生きること、学ぶことの大切さを伝えていきたい。



平塚 議員 創生会



ふるさと納税 (市HP)



進む温暖化、増加する農業被害

## 問 農業振興施策を問う



高野 浩一 議員

政和クラブ



収入保険制度  
(県農業共済組合 HP)

## 答 総合的な視点で進めていく

**問** 降ひようにより発生した被害の状況を問う。

**答** ブドウの葉は穴が開き、桃やスモモは実に傷が付くなど甚大な被害を受けた。対応として薬剤費の補正予算案を今議会に提案した。

**問** 収穫期の収入が大きく減少した時に、救済措置を行う考えはあるか。

**答** 他市の状況や過去の事例を参考にしていく。

**問** 農家経営を安定させる目的で新たにスタートした収入保険制度の加入率は3割である。加入率を増やすための支援策はあるのか。

**答** 収入保険制度は対象の

品目を限定せず、自然災害はもとより、価格低下なども含めた収入金額を補償するもので、32名の加入を見込んでいます。今後も加入しやすい制度になるよう関係機関に要望していく。

**問** 全国の35歳未満の農業従事者は、全体のわずか5割にとどまっている。本市の若い担い手に対する支援事業で、昨年度リニューアルした就農定着総合支援制度の実績を問う。

**答** 平成29年度は1件であったが、新制度になった30年度は8件が採択され、現在も新規就農者が研修中であることから一定の成果を得ることができている。

**問** 農業経営体と福祉施設による農福連携事業の成果を問う。

**答** 市内には障害者福祉サービス事業所が12施設ある。7施設は耕作放棄地を借り受けて、ブドウや野菜の生産販売を行ったり、受託契約によるブドウのせん定枝の拾い集めや除草作業等を行ったりしている。

**問** 農業の家族経営が再評価される中、本市の果樹農業が将来にわたって繁栄するための構想を問う。

**答** 本地域の家族農業は、地域の活性化や文化の継承、景観保全を含め、世界に誇り得る経営体であるため、引き続き担い手の確保と育成に努めていく。

**問** 農業の伝統的な生活やそこで暮らす人々との交流を味わう農泊は、移住者の増加や小中学校の体験活動に貢献している。また、農家所得の向上も期待できると考えるが、農泊事業への取り組みを問う。

**答** 平成27年度に甲州市グリーンツーリズム研究会を立ち上げ、農泊事業に取り組んでいる。また、玉宮地区と上条地区において、農業者や農業法人が取り組みを始めている。

**問** 耕作放棄地や再生可能エネルギーの構築物による農村景観の破壊が全国各地で発生しているが、本市の美しい農村景観をどのように守っていくのか。

**答** 本市を含む峡東3市は、世界農業遺産の認定を目指している。世界農業遺産にふさわしい景観の維持保全のため、農業の担い手確保、農地の適正管理、景観計画等に基づく景観保全を行っていく。

※1 働き手がほしい農業者と働く場や収入を確保したい障害者が連携して、農業に取り組む事業  
 ※2 農山漁村の生活体験と農家との交流を楽しみながら、農家民宿や古民家などに宿泊する「農山漁村滞在型旅行」



問

行政区の在り方を  
見直す考えは

答

現行の体制を維持する

問 市内の各行政区は、地域の自治会と運営が一体化しており、運営上も非常に分かりにくく問題があるが見直す考えはあるか。

答 行政区はこれまでの長い歴史の中、地域で築き上げられたものである。その在り方については、地域で主体的に考えていただき、要望等がある場合は研究していきたい。基本的には現行の体制を維持していく。

問 塩山下於曾西区の自治会費横領疑惑問題は、平成31年3月定例会の一般質問で「再発防止策は区長の意見も聞く中で研究・検討する」と答弁しているが、具体的な進展はあったのか。

答 4月の区長会役員会や総会において、特に意見等はなかった。年度が替わり新任の役員もいることから、次回以降の役員会で対応していきたい。

プラごみ減量化へ  
具体策はあるのか

問 世界中でプラスチックごみの海洋投棄や河川流入による環境破壊が問題視されているが、プラごみに対する考えと対策を問う。

答 ごみの発生抑制、資源化、適正処理の取り組みが重要と考えている。県と共にレジ袋の削減を図るため、マイバックを推奨した結果、昨年度の持参率は90・7%で県内1位であった。引き続き減量化とリサイクルを働き掛けていく。



プラごみは汚れを落とすことで再利用が可能になる

問 汚れを落としていないため、資源ごみとして処理できないその他プラが大量に発生しているが、それらの回収について具体的な対策はあるのか。

答 汚れたプラごみ、ペットボトル等は資源ごみとして扱うことができない。今後は再利用を図るため、汚れ等を取り除くよう周知していく。汚れたままのプラごみの処理方法は研究していきたい。

問 市民の理解と協力により、ごみの分別と減量化が図られている。

答 高齢者や運搬車がない方は、大きな家庭系粗大ごみを環境センターに持ち込むことが難しい。自宅訪問による回収システムをつくることはできないか。

答 関係機関と連携し、調査研究をしていく。

問 市環境センター（旧塩山クリーンピア）の移転先は、まだ決まらないのか。

答 引き続き代替地を探している。今後は拠点回収を含めて検討していく。



廣瀬 重治 議員

是々非々の会



家庭用ゴミのガイドブック  
(市HP)



安定した地域・在宅医療の提供が望まれる

# 問 今後の地域医療体制は



川口 信子 議員

日本共産党



勝沼病院  
(勝沼病院 HP)

# 答 市民の参画で基本計画策定へ

受ける中で地域医療体制を示すとしている。予算の内容、勝沼病院内科医の状況、昨年5月から開催している検討会の内容を問う。

**問** 経営改善に対する業務委託料に2380万円、審議会委員報酬に18万8000円、費用弁償に5万6000円である。情報収集と経営分析をし、その結果を基に各機関の代表者による

審議会で基本計画を策定していく。勝沼病院の内科医は、本年1月より大藤診療所所長が一部診療に当たっている。検討会では、勝沼病院は公的医療機関として

現状の体制で経営していくことは困難が予想されるため、開業医や介護保険施設等との連携により在宅医療の提供を担う医療機関にしていく旨の方向性を見出したところである。

## 県内で初となる 圏域支援を実施

**問** 本市の障害者の実態と障害者施策を問う。

**答** 平成30年度末の障害者数は1828人である。障害者地域生活支援センターには、精神保健福祉士と保

健師を各2人ずつ配置して各種相談業務を行い、社会福祉協議会と連携を図る中で、複雑な課題にも柔軟な体制で対応している。また、昨年9月から8法人27施設において、県内初となる峡東圏地域生活支援拠点事業を実施している。今後は緊急時の受け入れ態勢の確保等、支援強化に努めていく。

**問** 障害者福祉サービスの報酬改定により、障害者就労支援事務所は減収となり、ピンチに陥っていると報じられているが、市内における影響を問う。

**答** 3事業所のうち一昨年に1件が休止、1件が市外に移転している。なお、報酬改定が直接の原因かは不明である。

**問** 去る5月3日の地方新間に憲法に関するアンケート結果が掲載されたが、市長が憲法改正、安倍政権下での改憲、憲法9条の改正に賛成した根拠を問う。

**答** 周辺国との共存共栄の関係が変化する中、有事における国民の生命と財産を保護する必要があることから賛成と回答した。

**問** 下水道事業の進捗よく状況と合併浄化槽設置の兼ね合いを含めた今後の取り組みを問う。

**答** 事業は昭和54年から開始しており、現在の普及率は55割、接続割合を示す水洗化率は85・2割である。下水道区域外が対象となる市設置型の合併浄化槽は、整備範囲を検討し、計画的に整備を進めていく。

**問** 本年度予算には、地域医療体制整備事業に2404万円が計上され、勝沼病院、大藤診療所等の市内医療機関の分析や経営診断を



問

通学路の安全確保は

答

各機関に対策等を依頼

食品ロス削減推進法が成立したが、本市が管理する災害備蓄食の廃棄防止の取り組みを問う。

賞味期限が近い食品は廃棄せずに、防災訓練等において活用している。

NPO法人フードバンク山梨と福祉課は連携協定を結び、生活困窮者に食糧支援を行っているが、連携内容と実績を問う。

昨年度は20世帯に緊急支援を行った。本市はフードバンク山梨の法人賛助会員として活動を応援している。

本市の取り組みを問う。 県等の動向を注視し、情報収集に努めていく。 子どもたちが利用する通学路や散歩経路における交通安全対策を問う。 通学路の安全対策箇所

安心・安全メール等で学校や保護者に情報を発信している。また、警察署への通報や青色パトロール車による重点巡回を行っている。 高齢者運転免許証・自主返納支援事業の成果は挙がっているのか。 今年5月末までの自主返納者は133人であり、路線バス、デマンドバスのいずれか60回分の回数券を交付し、移動手段の確保に役立てられている。

高齢者ドライバーの交通事故対策として、先進自動車等の購入支援制度を導入する考えはあるか。

全国的に導入事例は少ない状況であるが、必要性を検討していく。

※ 食べ残しや期限切れにより本来食べることができた食品が廃棄されること



グリーンベルトが通学の安全を守っている



廣瀬 一郎 議員

公明党



高齢者運転免許証 自主返納支援事業 (市HP)

ホームページ再構築の折には、利活用が優れた内容にしていきたい。

LINEアプリを利用して、児童生徒のいじめ相談を行うことができないか。

必要経費やセキュリティ面など総合的な評価が必要であるため、各施設の所管課と連携し、協議を行いな



機運を高めるため市役所内では展示により  
仏ハンドボールチームが紹介されている

問

東京  
五輪

事前合宿の内容は



岡部紀久雄 議員

政和クラブ



仏ハンドボールチーム  
事前合宿  
(YAMANASHI.JAPAN HP)

答

フランスチームと基本合意を締結

**問** 本市は2020年東京オリンピックの事前合宿地であるが、確定しているチームや期間など受け入れ内容を問う。

**答** フランスハンドボール男女代表チームと、事前合宿に係る基本合意を締結している。期間は令和2年7月14日から21日で、塩山体育館を練習会場に事前キャンプを行う計画である。

**問** オリンピック開催中に市民有志によるフランスチームの応援計画はあるか。

**答** ハンドボール競技は、7月24日から8月9日まで行われる。組み合わせや正

式な試合日程が決まった時点で、応援バスツアーを決定する予定である。

**問** 本市はオリンピック事前合宿の誘致や塩山体育館の改修により、ハンドボール競技の普及を図る上で大きなチャンスを迎えているが、今後どのような施策を考えているのか。

**答** 本年は、元フランス代表で世界最高のゴールキーパーと言われた方による指導者講習会やハンドボール教室の開催を計画し、現在交渉をしている。また、今後は日本リーグなど全国レベルの大会誘致など、積極的に普及や活性化を図っていく。

**問** 塩山体育館の維持管理は、財政的な負担が増している。そこで民間企業と体育館の命名権を契約し、その収益を管理運営費に活用したらどうか。

**答** 塩山体育館は、昨年度に改修工事を終えているが、必要な維持管理費を現状の利用料収益のみで賄うことは非常に難しい状況である。今後は、命名権の導入も視野に入れながら、利用

者にとって快適な施設となるよう検討を重ねていく。

**問** 大菩薩周辺には、年間約17万人の登山客が訪れているが、大菩薩エリアにおけるトイレの設置状況と管理状況を問う。

**答** 大菩薩エリアには、公衆トイレが14カ所設置されている。維持管理は、シルバ1人材センターや近隣住民の方々、山小屋の管理者にお願いしている。

**問** 丸川峠付近には公衆トイレが無く、山小屋丸川荘が設置したトイレを多くの登山客が利用している。しかし、利用者の増加と老朽化によって使用は限界にきているが、市の対応を問う。

**答** 丸川峠付近は国立公園内であり、今後、ユネスコパークのエリアに認定される見通しもあることから、関係機関と十分な協議を行い検討していく。

**問** さらなる観光振興を図るためには、近隣市との連携が重要であると考えられているか。

**答** 今後も県等の関係機関や峡東3市の連携を図ることが重要と認識している。



# 問 避難所の開設や運営は

## 答 市職員が協力して運営

**問** 避難所運営マニュアルを作成している公民館と地区内にある他の避難所施設との相互連携は、どのような方法で行うのか。

**答** 市内46カ所を避難所に指定している。各施設の管理者には避難所であることと説明し、関係課を含める中で連携を図っていく。

**問** 避難所を開設する行政区と活用する行政区を指定する考えはあるか。

**答** 目安として指定はしているが、必要に応じた避難をお願いしている。

**問** 避難所の開設や運営について市の取り組みを問う。

**答** 市職員が自主防災会等と協力して運営を行う。

**問** 定住人口を増やすため、塩山高校や産業技術短期大学校と連携を拡大する考えはあるか。

**答** 若者が住み続けたいと感じるまちであるために、両校とさらに踏み込んだ連携を検討していきたい。

**問** 人口減少率が少ない地域に保育所や公園をつくり、子育て支援の環境整備を推進する考えはあるか。

**答** 郊外の開発を抑制し、中心市街地への居住誘導、塩山市民病院周辺地域との

ネットワーク強化が重要と考えている。

**問** 第2次健康増進計画の評価に、健康診断受診者の平均血糖値や介護保険新規申請者数などの客観的データを活用できないか。

**答** 事業評価は、市民アンケートによる主観的データと調査による客観的データにより行っている。今後は

中間評価、最終評価にも客観的データを活用していく。

**問** 受動喫煙対策の強化に向け、市ではどのような準備をしているのか。

**答** 市役所本庁舎、支所等



若者の定住へ塩山高校と連携強化を

の対策は、7月1日からの敷地内禁煙に向け、関係各課と連携して周知を図る。

**問** スマート農業への取り組みを問う。

**答** 農業IoT機器の購入費支援を行っている。補助率は対象経費の2分の1以内で上限は30万円である。

**問** 農繁期における人手確保の取り組みを問う。

**答** 新規就農者や担い手の育成支援を継続していく。

**問** 果実をジュースやドライフルーツにする加工施設を整備できないか。

**答** 自治体による加工施設整備は、国の補助制度が対象にならないため難しい。

**問** 新規就農者への補助金は、年間収入が一定額を超えると返還しなければならぬが、返還を免除することができないか。

**答** 国の補助事業で、国が要件を定めているため免除は難しい。

**問** 農作業を省力化する電動はさみやアシストスーツの購入費を補助できないか。

**答** 需要が高まることは想定されるが、補助金の交付は難しい。



議員 正 日 創生会



防災マニュアル (市HP)

※1 ICT (情報通信技術) 等を活用して省力化や高品質生産を実現する新たな農業  
※2 農業の生産性を効率化するためのICT (情報通信技術) などを備えた機器



市内外から多くの来場者が集まる朝市。この賑わいを周辺市街地の活性化につなげたい

問  
都市計画課税  
課税停止による影響は



小林真理子 議員

子どもにつなぐ未来の会



空き店舗活用 (市HP)

答  
4年分で約5億4900万円が減収

**問** 都市計画税の再開と課税区域の見直しにより、都市計画区域のどのくらいが課税対象になるのか。

**答** 都市計画区域内の宅地・雑種地・家屋に課税される。市全体面積のうち、宅地は3割、雑種地は1.2割である。

**問** 農地も都市計画事業の受益地になる可能性がある。それでも課税対象は宅地と雑種地なのか。

**答** 課税区域の公平性から農地に対する課税は適正ではない。

**問** 都市計画事業に係る起債残高と償還額はどのくらい

**問** 課税を停止していた期間の影響について問う。

**答** 直接的な影響は歳入の減少である。4年間の課税停止により、約5億4900万円が減収となった。実質収支額は、平成27年度に8億6222万円余であったものが、30年度決算見込み額では3億9705万円と毎年度減少した。28年度以降の単年度収支は赤字であり、財政運営には少なからず影響があった。

**問** 平成30年12月定例会以降、中心市街地の空き店舗対策について進ちよく状況を問う。

**問** 課税を停止していった期間の影響について問う。

**答** イベント会場内に観光案内所を設置し、旬の情報を提供している。また、民間が行うイベントや観光客が訪れる場所にパンフレット等を置き、本市の魅力発信に努めている。

**問** これまで行われてきた中心市街地活性化の取り組みについて効果を問う。

**答** 関係機関と連携して各種事業に取り組んでいるが、すぐに効果は表れない。常に人を引き付ける魅力を保持するため、取り組み内容や在り方を継続して検討していくことが重要と考えている。

**問** 課税を停止していった期間の影響について問う。

**答** 平成29年度末の都市施設に対する起債残高は、2億4151万8000円、毎年度2000万円前後を償還していく。既発行債分は令和15年度で完済となる。下水道事業の起債残高は、83億3589万1000円、元利償還金は平成29年度決算で9億6553万3000円である。今後の償還見込み額は、本年度が9億3088万円余、令和2年度が8億9240万円である。

**問** 課税を停止していった期間の影響について問う。

**答** 調査は行っていない。

**問** 朝市など各種イベントを目的とした来訪者に、市内観光をしてもらうなど、滞在時間を長くするための取り組みを行っているのか。

**答** イベント会場内に観光案内所を設置し、旬の情報を提供している。また、民間が行うイベントや観光客が訪れる場所にパンフレット等を置き、本市の魅力発信に努めている。

**問** 市内から4件、市外から3件の創業相談があった。2件が出店を希望しているため、商店街空き店舗対策費補助金制度を紹介した。

**問** えんざん朝市とかつぬま朝市が、およつちよいづラザ七里と中央防災広場塩むすびで同時開催されるようになった。動員と歩行者調査は行っているのか。



問

人力移動を重視した  
まちづくりを

答

移動ルートの整備を検討

問 都市計画マスタープランの見直しに当たり、世界農業遺産や峡東ワインリゾート構想等の理念を取り込むべきではないか。

答 本市の都市計画やまちづくりの推進方法を見据えながら、見直しに反映させていきたい。

問 散歩、ランニング、サイクリングの「人力による移動」を重視したまちづくりを、都市計画マスタープランの中で具現化していく考えはあるか。

問 勝沼ぶどうの丘施設の修繕計画は順調に進んでいるのか。また、資金は確保しているのか。

答 ほぼ順調に進んでいる。資金は、利益を積み増している内部留保資金から支出している。

問 世界農業遺産の評価の柱は、扇状地に適した果樹システムである。今後は生活者や農業者の視点や環境変化への適応が重要であるが、果樹システムを維持発展させるための方策を問う。

問 出したが、保全計画の実践を通じて維持発展をしていくと考える。

問 日川、重川は雑木等が目立つが、河川管理の現状と今後の取り組みを問う。

問 小中学校の統廃合に関するアンケート調査を保護者に対して実施したが、その目的を問う。

問 学校再編に対する考え方、統廃合する場合に考えられる心配点や配慮を望むことなどを保護者から聴取し、計画策定の資料とするものである。

問 現状は充足している。公立・私立共に情報を共有し、確保に努めている。

問 市職員の人事評価は、職員個人や課の目標を設定して評価しているのか。また、報奨や昇進に反映させる仕組みはあるのか。

答 市総合計画に沿って各課が組織目標を設定した上で、各職員が担当する事務の達成目標を設定している。報奨や昇進は、業績評価の結果に基づき勤勉手当や昇給、昇進に反映させている。

問 保育士の確保が困難と

問 教育長 児童生徒数は、市町村合併時点から3割程度減少しており、今後ますます減少が推定されるため、学校の再編を検討することになった。

問 保育士の確保が困難と



飯島 孝也 議員

創生会



世界農業遺産認定申請 (市HP)



散歩やサイクリングなど人力を重視したまちづくりを計画していきたい

## 学校再編審議会を設置

### 今年度内の答申を要望

総務文教常任委員会を6月24日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

■市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正  
 〇 残業時間が月80時間を超える職員数を問う。

〇 時期的な要因もあるが、税務課で5人、秋は観光商工課職員が長時間残業になる傾向がある。  
 〇 長時間残業の改善策を講じているのか。

〇 業務の見直しや効率化を図る中で、働きやすい環境を整えていく。

■市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

〇 外部立会人の報酬額が改正されるが、指定病院等の不在者投票に立ち合った実績はあるのか。

〇 選挙管理委員会の事務局職員が立ち会うことから実績はない。

■附属機関の設置に関する条例の一部改正

〇 設置される学校再編審

議会の委員は、誰が任命するのか。また、審議会はどのように進めるのか。

〇 委員の人選や任命は教育委員会が行う。審議会には、統合ありきでなく、さまざまな意見を集約する中で、年度内にはある程度の方角性を示した答申をいただきたいと考えている。

■都市計画税条例等の一部改正

〇 改正は公平な課税のために行われるが、その内容を問う。

〇 停止していた課税を再開する改正である。税率を見直して税負担を軽減し、一部を除く都市計画区域内の塩山地区と勝沼地区を課税対象とした。

〇 新たに課税される地域の納税者からは、質問や異議等が多くあると予想する

が、理解をいただける周知や説明が必要ではないか。

〇 出前講座を行うと共に、広報紙や市ホームページ

ジ等において周知を図り、住民から理解を得られるよう努めていきたい。

〇 課税再開により財政的な収入はどのくらいか。

〇 年間で約1億3500万円である。

■国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願

意見 消費税は、社会保障や地方財政を安定させる。また、全国民で負担を背負うことがあるべき姿と考えるため反対する。

意見 消費税は、低所得者ほど負担率が大きい欠陥税制であるため賛成する。

※総務文教常任委員会では、本請願は採決の結果、反対多数で「不採択すべきもの」と決しました。

総務文教常任委員会

◎丸山国一 ○岡部紀久雄  
 廣瀬宗勝 中村勝彦  
 川口信子 飯島武志  
 廣瀬一郎 平塚 悟

## 常任委員会レポート



小中学校の課題はさまざまな意見を集約することが求められる



# 厚生経済常任委員会

6/20

## 産地パワーアップ事業等

### 農業振興費に7460万円余を計上

厚生経済常任委員会を6月20日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

■ 勝沼ぶどうの丘設置及び管理条例の一部改正  
 温泉施設に市内在住者が利用できる回数券を導入する改正であるが、使用期限はあるのか。

■ 令和元年度一般会計補正予算(第2号)  
 降りよぶを原因とした農作物の病害を防ぐため、農業購入費に対して補助金を支給するが、補助対象になる農作物を問う。

■ 令和元年度一般会計補正予算(第1号)  
 農業振興費の補正額7460万8000円の具体的な事業内容を問う。

■ 令和元年度一般会計補正予算(第1号)  
 膜ろ過設備には、さまざまな装置があるが、全てを検討し、設置後の維持管理等を勘案するなかで、経済的にも安価な装置を選択した。

厚生経済常任委員会  
 ◎高畑一幸 ○青柳好文  
 夏八木盛男 廣瀬重治  
 日向正 廣瀬明弘  
 高野浩一 飯島孝也  
 小林真理子

## 常任委員会レポート

■ 令和元年度一般会計補正予算(第1号)  
 農業振興費の補正額7460万8000円の具体的な事業内容を問う。

■ 令和元年度一般会計補正予算(第1号)  
 農業振興費の補正額7460万8000円の具体的な事業内容を問う。

■ 令和元年度一般会計補正予算(第1号)  
 農業振興費の補正額7460万8000円の具体的な事業内容を問う。

■ 令和元年度一般会計補正予算(第1号)  
 農業振興費の補正額7460万8000円の具体的な事業内容を問う。

■ 令和元年度一般会計補正予算(第1号)  
 農業振興費の補正額7460万8000円の具体的な事業内容を問う。



1年間有効な回数券の発行を予定している天空の湯

# 表紙の写真

夏休み前の7月13日から15日の3日間、恒例の勝沼少年ジャンボリーが開催され、勝沼地域の小学生6年生57人が参加し、本格的なキャンプに挑みました。テントの設営や炊飯前の火起こしでは、悪戦苦闘する姿も見られましたが、仲間たちと協力して過ごしたキャンプ生活は、子どもたちの胸に大切な思い出を残したようでした。



## のんちゃん 絵日記

〇月×日 (作)のそ



### 9月定例会開催予定

日	月	火	水	木	金	土
8/25	26	27	28	29	30	31
				本会議 (開会)		
9/1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	予備日	常任委員会 (厚生経済)	常任委員会 (厚生経済)	
15	16	17	18	19	20	21
		常任委員会 (総務文教)	常任委員会 (総務文教)	決算審査 特別委員会 (一般会計 財産区会計)	決算審査 特別委員会 (一般会計 財産区会計)	
22	23	24	25	26	27	28
		決算審査 特別委員会 (特別会計 企業会計)	決算審査 特別委員会 (特別会計 企業会計)		本会議 (閉会)	

○午前10時開会です。(日程変更はホームページ等でご確認ください)  
○市議会はどなたでも傍聴できますので、ぜひ議会議場・委員会室(市役所本庁舎 3階)へお越しください。

## 輝く甲州市民

てづか ともひと  
手塚 智仁 さん

大和町初鹿野 (18歳)  
笛吹高校

●関東高校体育大会  
自転車 男子個人ロードレース  
(72km)で優勝  
記録 1時間55分7秒



「レースのスピード感と駆け引きが自転車競技の醍醐味です。優勝した瞬間は、素直にうれしい気持ちと、大きな充実感でいっぱいになりました。これからは練習を重ね、ロードレースとトラック競技に出場するインターハイでは、上位入賞を目指します」と力強く語ってくれました。

甲州市ホームページで  
議会広報のバックナンバーが読めます。

甲州市ホームページのトップ画面上の「甲州市議会」をクリックし、続いて「議会広報」をクリックしてください。



議会広報バック  
ナンバー

### こちら編集室

市議会は生活に密着した審議をしますが、国会を身近に感じる方が多い理由は、マスメディアを通じて分かりやすく解説され、報道頻度が高い事にもあると思います。私たちも広報の方法と、その内容である議会活動は常に最善を目指していく必要があります。今回は紙面に一部改良を加え、委員会活動もしやすくなるように変更をいたしました。皆様からのご意見をお待ちしております。

■今年 は記録的な日照不足による梅雨寒が続き、5月にはひょう害もあり農産物等への影響が出ています。自然環境にどう対応し、何を備えていくのか？行政による備えを充実することはもちろんですが、各個人でも考え、備えていくことも大事です。今後は暑い日も続きますが、ご自愛いただきお過ごしください。(中)

市議会広報編集委員会

編集委員長 廣瀬 宗勝  
副委員長 日向 正  
委員 廣瀬 一郎  
委員 中村 信彦  
委員 川口 紀久  
委員 岡部 久雄  
委員 廣瀬 明弘  
委員 高野 浩一  
委員 小林 真理子